



## 「毎日通いたい学校 より良い学校」を目指し チャレンジ 挑戦する生徒会

3月1日 全校朝会で発表



### ① 中学部：トレパン下校にしてほしい。

学校指定のトレパンは、全員が同じ色とデザインの上、校章が入っており所属（学校）がわかります。下校時においても青鷲の生徒であることに自覚と誇りを持ち、学校指定トレパンで下校してもよいことを認めます。  
(令和4年1月13日 校長 中谷えり子)

### ② 小学部：シャーペンを使用したい。

小学部段階では、鉛筆の使用を推奨します。

低学年の場合は、握って書く力「筆圧」が弱く、筆圧が弱いと文字が読めないことがあります。そのため、筆圧が弱くても芯が折れにくく濃い字が書ける2BあるいはBの鉛筆を多くの小学校が入学前のリストに挙げています。それから、小学部段階で正しい文字（教科書の文字）をしっかり身に付けてほしいことから、小学部では筆順、字体・字形、とめ、はね、はらいまで丁寧に指導しています。シャーペンの芯だと細すぎて、とめ、はね、はらいがうまく書けないことがあります。濃くて芯の軟らかい鉛筆は書き心地が書道の筆に似ているのでとめ、はね、はらいが表現しやすいと言われていました。実はこのとめ、はね、はらいを含め字体・字形を正しく書くことを文部科学省は小学部のうちに身に付けてほしいと考えています。だから、どこの小学校においても筆順に従って、とめ、はね、はらいを含め丁寧に文字の指導をしています。小学部の先生方の意見が、シャーペンではなく、鉛筆を使って文字を書いてほしい理由も同様で、筆圧を加減して文字が書けるようになること、とめ、はね、はらいを含めて正しい文字を理解してほしいからなのです。

(令和4年2月17日 校長 中谷えり子)

## 頼もしい生徒会

「チャレンジ」黒板に出てきた児童生徒からの意見について、生徒会役員の皆さんは、児童生徒や保護者の皆さんから意見を集め、真剣に話し合ってくれました。今回「チャレンジ」に出てきた2つの意見について、校長と意見交換し、決着をつけることになりました。小学部のシャーペンの使用については、途中で小学部の先生にも意見交換に入ってもらい3回の話し合いをもちました。話し合いを進める中、双方の考えや思いが伝わり、他の小学校や他の鷲学校の情報を集めながら回を重ねました。生徒会役員の皆さんが生徒会や自分の意見をしっかりと伝え、話し合いに望む姿は頼もしく、また、うれしくもありました。自分たちで学校を変えていこうという気概にあふれる生徒会メンバーです。小学部の先生方からは、児童が書いた意見を生徒会の皆さんが真剣に考え、対応してくれたことありがとうございますという感謝の気持ちが伝えられました。生徒会の皆さん、みんなが力を合わせると学校が変わります。学校を変える力を持っています。これからも生徒会の挑戦と活躍を大いに期待しています。